

日本腐植物質学会第 31 回講演会 講演要旨集

Abstract for 31th Annual Meeting of Japanese Humic Substances Society

2015 年 11 月 19 日(木)～20 日(金)

名古屋大学野依記念学術交流館

November 19-20, 2015

Noyori Conference Hall, Nagoya University, Nagoya, Japan

主催：日本腐植物質学会

協賛：日本土壌肥料学会、日本分析化学会、農業農村工学会

日本腐植物質学会第 31 回講演会プログラム

会期:2015 年 11 月 19 日(木)~20 日(金)

会場:名古屋大学野依記念学術交流館

—大会 1 日目(11 月 19 日)—

9:00~10:00 受付

10:00~10:05 開会挨拶

10:05~12:10 International Humic Substances Society 18th International Meeting in Kanazawa プレシンポジウム「Keystone for Future Earth: Diversity of Organic Matter in Environments」1 (座長:長尾誠也、福嶋正巳)

- S1 「宇宙に存在する有機物:高分子分析から解明される初期太陽系物質進化」
藪田ひかる(大阪大学大学院理学研究科)
- S2 「溶存有機物と鉄の錯体を利用した藻場再生技術の現状と展望」
山本光夫(東京大学海洋アライアンス)
- S3 「放射性炭素分析で見る土壌有機物の動態と多様性」
小嵐 淳(日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター)

12:10~13:10 昼食

13:10~14:10 総会

14:20~15:40 口頭発表セッション 1 (座長:池谷康祐)

- O1 「中国吉林省の強アルカリ性土壌の腐植組成と腐植酸の性状」
青山正和¹、佐藤 敦²、郭 晞明³、河合成直⁴(¹ 弘前大学農学生命科学部、² 秋田県立大学生物資源学部、³ 吉林省農業科学院水稻研究所、⁴ 岩手大学農学部)
- O2 「堆積岩系深部地下水中の腐植物質の特性」
齊藤拓巳¹、寺島元基²、青柳 登³、長尾誠也⁴、藤嶽暢英⁵、大貫敏彦⁶

(¹ 東京大学大学院工学系研究科、² 日本原子力研究開発機構環境技術開発センター、³ 日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター、⁴ 金沢大学環日本海域環境研究センター、⁵ 神戸大学大学院農学研究科、⁶ 日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター)

O3 「固相抽出法を用いた琵琶湖溶存有機物の分画」

杉山裕子¹、内海理伽²、熊谷 哲²、藤嶽暢英³、木田森丸³、真木謙造³、千賀有希子⁴、早川和秀⁵(¹岡山理科大学理学部、²兵庫県立大学環境人間学部、³神戸大学農学研究科、⁴東邦大学理学部、⁵滋賀県琵琶湖環境科学研究所)

O4 「温度および水分条件の異なるメタン発酵過程における乳牛ふん尿有機物組成の変化(まとめ)」

筒木 潔¹、保井聖一²、廣永行亮³、河原畑正也³、塩飽宏輔³(¹帯広畜産大学、²北海道エア・ウォーター株式会社、³株式会社ズコーシャ)

15:40～17:30 ポスターセッション

15:40～16:00 ポスター1 分間紹介

16:00～17:40 ポスター発表

18:00～20:00 懇親会 (名古屋大学野依記念学術交流館)

—大会 2 日目(11 月 20 日)—

9:00～ 9:10 受付

9:10～12:00 International Humic Substances Society 18th International Meeting in Kanazawa プレシンポジウム「Keystone for Future Earth: Diversity of Organic Matter in Environments」2 (座長:長尾誠也、福嶋正巳)

S4 「土壌中のBlack Carbonとバイオ炭」

渡邊 彰(名古屋大学大学院生命農学研究科)

S5 「反応熱分解分析法による生体試料中の脂質成分のキャラクタリゼーション」

石田康行(中部大学応用生物学部)

- S6 「環境中でのセシウムなどの金属イオンの固相吸着に及ぼす腐植物質の影響」
高橋嘉夫(東京大学大学院理学系研究科)
- S7 「琵琶湖の水質管理と溶存有機物の研究」
早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

12:00~13:00 昼食

13:00~14:20 口頭発表セッション 2 (座長:山下祐司)

- O5 「フルボ酸の鉄イオン保持力評価方法の検討」
木下健司(東京都立産業技術研究センター)
- O6 「大気エアロゾル中の腐植様物質と多環芳香族炭化水素類との相互作用」
浅川大地(大阪市立環境科学研究所)
- O7 「亜鉛ポルフィリン錯体の光増感で生成した一重項酸素による 2,4,6-トリブロモフェノールの酸化分解に及ぼす腐植物質の影響」
朱 倩倩¹、五十嵐真美¹、佐々木正秀²、小玉 立¹、福嶋正巳¹(¹北海道大学大学院工学研究院、²産業技術総合研究所北海道センター)
- O8 「水田土壌微生物の生態解析を目指した人工土壌の開発」
前田 悠、村瀬 潤(名古屋大学大学院生命農学研究科)

14:20~14:30 休憩

14:30~15:50 口頭発表セッション 3 (座長:兒玉宏樹)

- O9 「多孔質媒体中におけるフミン酸の移動特性 δ カルシウム濃度および pH の影響」
山下祐司、足立泰久(筑波大学生命環境系)
- O10 「別寒辺牛川-厚岸湖における粒子態有機物の移行挙動」
長尾誠也¹、関 宰²、宮田佳樹¹、落合伸也^{1*}(¹金沢大学環日本海域環境研究センター、²北海道大学低温科学研究所、*現在:公益法人環境技術研究所)
- O11 「油ヤシプランテーション環境下における熱帯泥炭の初期分解」
眞家永光¹、前田真広¹、Faustina Sangok^{2,3}、渡邊 彰³、Lulie Melling²、
丹治 肇¹(¹北里大学獣医学部、²Tropical Peat Research Laboratory、³名古屋大学大学院生命農学研究科)
- O12 「顕微 FT-IR スペクトルによる埋没泥炭の分解評価」

森下瑞貴、川東正幸(首都大学東京都市環境科学研究科)

15:50~16:00 閉会挨拶

ポスターセッション 11月19日(木) 15:40~17:40

ポスター1分間紹介(パワーポイント1枚、口頭1分)は講演番号順に行います。

ポスターは講演会終了まで掲示をお願いします。

- P1 「 ^{13}C CP/PASS NMRによる各種土壌ヒューミンの構造特性評価」
杉浦幸希、渡邊 彰(名古屋大学大学院生命農学研究科)
- P2 「マレーシア国サラワク州における異なる植生下に存在する熱帯泥炭土の炭素の存在形態」
加藤紀香¹、田中治夫¹、眞家永光²、Melling L.³、木村園子ドロテア⁴、渡邊 彰⁵
(¹東京農工大学院農学府、²北里大学獣医学部、³Tropical Peat Research Laboratory
⁴Leibniz Centre for Agricultural Landscape Research、⁵名古屋大学大学院生命農学研究科)
- P3 「マングローブ林内土壌における炭素貯留機構に関する要因の一予察的研究」
木田森丸¹、田邊 舞¹、加藤 拓^{1*}、飯村康夫²、金城和俊³、大塚俊之⁴、友常満利¹、藤嶽暢英¹(¹神戸大学大学院農学研究科、²滋賀県立大学環境科学部、³琉球大学農学部、⁴岐阜大学 流域圏科学研究センター、*(現)東京農業大学応用生物科学部)
- P4 「TMAH 熱分解 GC/MS による堆肥の海水可溶有機物分画の抽出期間による構造変化の検討」
岩井久典(大阪府立大学大学院工学研究科)
- P5 「フルボ酸含有製品の蛍光特性と分子量分布比較」
馬場大哉、生垣加代子(東レテクノ株式会社)
- P6 「三次元励起蛍光スペクトル-PARAFAC 法を用いた水系腐植物質の紫外線分解過程の追跡」
盛合哲史、千賀有希子(東邦大学大学院理学研究科)
- P7 「土壌中の Black Carbon の定量方法の検討:有機化学物質の土壌吸着とのかかわりで」

相馬和平、谷平祐樹、旭 俊也、渡邊 涼、蟹江里奈、磯井俊行、村野宏達
(名城大学農学部)

- P8 「異なる水系フルボ酸における Fe ならびに Cu との錯生成能の相違」
真木謙造¹、園田 碧¹、福田伊津子¹、鈴木武志¹、加藤 拓^{1*}、藤嶽暢英¹
(¹神戸大学大学院農学研究科、* (現)東京農業大学応用生物科学部)
- P9 「酸化カップリングにより腐植酸へ取りこまれたテトラハロビスフェノール A の安定性評価」
小玉 立、宮本貴文、五十嵐真美、小田光希、福嶋正巳(北海道大学大学院工学研究院)
- P10 「ベンゾ[a]ピレンの生物毒性に対する腐植酸の影響—第2報 腐植酸濃度と酵素作用が及ぼす生長阻害軽減効果の変化—」
柳由貴子¹、越智雄史¹、藤嶽暢英²、小林孝行³(¹山口大学農学部、²神戸大学大学院農学研究科、³日本大学生物資源科学部)
- P11 「ネオニコチノイド系殺虫剤 acetamiprid の土壌吸着に Al、Fe イオンと腐植物質の複合体形成が与える影響」
宇井直斗¹、鈴木勝大¹、茅田沙央理¹、齊藤光彦¹、弓削直也¹、有城卓志¹、渡邊彰²、磯井俊行¹、村野宏達¹(¹名城大学農学部、²名古屋大学大学院生命農学研究科)
- P12 「ダム底泥及び Fe 資材添加におけるイネの生育促進効果」
宮本 隼¹、厨子圭介²、兒玉宏樹³、宮島 徹¹(¹佐賀大学大学院工学系研究科、²厨子農園、³佐賀大学総合分析実験センター)
- P13 「植物残渣より調製した加熱焼成物の土壌肥沃度改善の可能性」
隅田裕明¹、小林孝行¹、川東正幸²(¹日本大学生物資源科学部、²首都大学東京都市環境科学研究科)

